

甘くて美味しい季節がやってきた!

「いちご狩り」を楽しもう!

貴志川町で
in KISHIGAWA

貴志川線の終点貴志駅がある紀の川市貴志川町は、いちごの栽培が盛んな地域で、和歌山県で最初にいちご作りを始めた土地として知られています。貴志川観光いちご狩り協会では、まちおこしを目的に地元特産の美味しいいちごを利用した、いちご狩りを毎年開催しています。

そこで、これからいちご狩りのシーズンを迎える貴志川観光いちご狩り協会を訪ねました。

貴志川観光いちご狩り協会
小日向さん



◆貴志川観光いちご狩り園について教えてください。

いちごの栽培は34年間前から、今は約8,000㎡の土地でいちごを栽培しています。シーズン中は、近所の農家10件ほどと契約しているのでそちらも利用しながら皆さんにいちご狩りを楽しんでいただいています。

いちごは本来5月頃に実をつけますが、ビニールハウスを使った早出し促成栽培という方法で12月から5月まで楽しめるようにしています。



◆いちごの作りのこだわりなどをお聞かせください。

目標は無農薬栽培です。ただ、いちご作りはとても難しく、家庭などで作る少量ならともかく、これだけの量を無農薬で育てているところはおそらく全国にもないと思います。それほどいちごの栽培は虫や病気の被害が多く難しいものです。消毒剤は使いたくないので、自然のものや人の手で虫を駆除するようにしていますが、とても手間がかかり、見栄えの悪いものもできてしまいます。その手間の分、ここのいちごは安心・安全で美味しいという自信を持っています。

◆いちご狩りには、毎年どれくらいの方が来られていますか?

毎年2万人くらい。予約がいっぱいで断っているのも同じく2万人くらいいます。家族連れが多く、団体客や女子会などで利用されています。最近では海外からも多くの方が来られます。海外にはあまりいちごはないみたいで、皆さん大変満足して帰られます。海外の案内本にも載っています。



◆いちご狩りで大変だなと感じることはありますか?

昔はたくさんの農家の方がいて、そのビニールハウスを借りていちご狩りをしていましたが、今では農家の方も減り、自分たちが作らないと継続できないようになってきました。貴志川でいちご狩りがなくなったら町の火が消えたようになると思うので、何がなんでも続けていきたいと思っています。ただ、いちご作りはとても難しく、真夏のビニールハウスの中での作業も大変なので、この仕事を続ける人がいないのが現状です。それでも毎年たくさんのお客さんが来て、いちご狩りを楽しんでいる姿を見るとやめられないと思います。

また、少しでも世の中に貢献できればという思いで、地元の保育園の子どもを無料で招待したりと頑張っています。

それに今は、日本一のいちご作りを目指して無農薬栽培のための肥料の研究をしているところで、実際に無農薬でいちごを作っています。テストに時間がかかりますが、もし無農薬でいちごや野菜が出来るようになれば世の中が変わるようなすごいことです。まだまだ時間のかかる茨(いばら)の道ですが、だからこそおもしろいですね。



和歌山オリジナル「まりひめ」
糖度が高く甘いのが好評!!

写真は、和歌山オリジナルの「まりひめ」という品種のいちご。糖度が高く甘いのが特徴。

他にも糖度と酸味のバランスがいい「さちのか」や、粒が大きい「紅ほっぺ」という種類のいちごもあります。

◆美味しいいちごの見分け方がありますか?

いちごは房ごとに味が違うので実際食べてみないとわかりません。出来るだけ赤く、つやのあるものを食べてください。それと作物は朝に水分を吸うので、朝のいちごの方がみずみずしく、また日光に当たると生暖かくなるので、ほどよく冷えた朝がおおすすめです。

◆美味しい食べ方がありますか?

そのまま取りたてを食べるのが一番美味しいですね。練乳もこちらでは販売しています。お客さんの中には、家でクレープを焼いてきていちごと生クリームを乗せて食べる方もいましたね。(笑)

◆最後に、いちご狩りの魅力・楽しみ方を教えてください。

ビニールハウスの中は冬でも暖かいですし、ここは区画や時間制限がないので子ども連れの方でも一日ゆっくり楽しめます。

天気がよければ周りの畑にゴザを敷いてお弁当を食べたり、予約が必要ですがバーベキューやいちごジャム作り体験を楽しんだりすることができます。是非、ご家族やお友達と一緒に貴志川へ安心・安全で美味しいいちごを食べに来てください。



1 駐車場もあるので車で来ても安心です。受付を済ませたら、いちご狩りへ出発!



2 のどかな田園風景の中をぬけてお目当てのいちごがあるビニールハウスへ向かいます。農園までは車で送迎してもらえます。



3 入り口で紙コップ(土が気になる場合に水を入れて洗う用)を受け取り中へ入ると、甘い香りが漂います。

家族や友達とわいわい楽しみながらたっぷり一日遊べる「いちご狩り体験」

- 交通** わかやま電鐵貴志川線 貴志駅から徒歩15分
- お問合せ** 貴志川観光いちご狩り協会 TEL 0736-64-7212 (1月10日~5月下旬)
貴志川観光物産センター TEL 0736-64-8787 (上記期間以外のお問合せ)
- 利用期間** 1月10日~5月中旬
 - ・ご利用時間は9時から15時(受付14時まで)
 - ・1月10日から4月第3土曜日までは予約が必要です(団体はすべての期間予約が必要です)
 - ・当日のいちごの状態によりご利用時間内でも閉園する場合がありますので、お問合せの上ご来園ください
- 料金** 大人1,500円/小学生1,000円/幼児700円(3才以上)/団体割引30名以上1割引

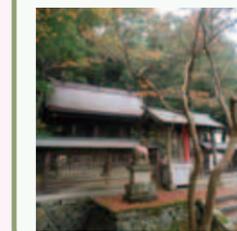


「大飯盛物祭」

おおめし もりものまつり (貴志川町指定民俗文化財)

平成17年の開催以来、11年ぶりに開催されます。

貴志川町のこの春、
注目のイベント!



日時/平成28年4月3日(日) 場所/大國主神社(おおくにぬしじんじや)

起源 大國主神社の東側にある国主淵(くにしづち)には古くから龍神がすむという伝説が残っており、毎年、生け贄として村の娘を差し出していたといわれます。それが変化して餅へと代わり、祭神と龍神に餅を捧げる神事として行われるようになったといわれます。鎌倉時代に始められたというこの祭りは、昭和10年以降、中断していましたが昭和56年に46年ぶりに復活し、その後も平成5年と平成17年に行われたただけでした。今回は11年ぶりの開催となります。

神事 高さ5m、直径3mの大きな電球のような形に編まれた竹串の周囲に6千個の餅が飾り付けられ、握り飯に見立てた山車「盛物(もりもの)」が歌を歌いながら貴志川町内から大國主神社まで練り歩きます。